

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム ひだまり

作成日: 平成 25年 4月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |          |                                                |                                                                          |                                                          |                |
|----------|----------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------|
| 優先<br>順位 | 項目<br>番号 | 現状における問題点、課題                                   | 目標                                                                       | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                       | 目標達成に<br>要する期間 |
| 1        | 1        | 職員からの個々の提案を基に、独自に創り上げた理念を共有して実践につなげる。          | 理念の実行、実現                                                                 | 職員が理念の趣旨を理解し、共有できるように話し合いの機会をつくる。                        | 3ヶ月            |
| 2        | 26       | 日常介護との関連性を意識した介護計画が作成されていない。                   | 日常介護に関わっている職員が、共通の認識を持って介護できるような介護計画を作成する。                               | 職員は介護計画についての知識を深め、各利用者の現状を認識し、実践に則した介護計画を作成する。           | 6ヶ月            |
| 3        | 6        | 職員間で「身体拘束をしないケア」を再認識する。                        | 「身体拘束をしないケア」を目標とする                                                       | 職員で身体拘束を再認識し、身体拘束をしないケアについて再認識する。                        | 6ヶ月            |
| 4        | 11       | 運営に関しての会議などに、現場の意見が十分に反映されていない。                | 運営に関しての会議などに、職員からの意見や提案も繁栄させる。                                           | 責任者会議の内容を全職員に熟知させる。また、グループホーム内での話し合いから、必要に応じて、責任者会議で伝える。 | 6ヶ月            |
| 5        | 4        | 運営推進会議が事業所の現状報告等に留まっており、会議が事業所の運営にあまり活かされていない。 | 外部の方の意見が活かされ、サービスの向上につながるような会議開催をする。                                     | 運営推進会議をグループホーム独自で開催する。議題によって会議のメンバーを変える。                 | 6ヶ月            |
| 6        | 33       | 契約書から「看取り加算」についての記載を削除した。                      | 利用者が重度化された場合や終末期のあり方について、本人・家族等と話し合い、事業所で出来ることを十分に説明しながら、方針を共有し、支援に取り組む。 | 終末期ケアについて関係者と話し合う機会をつくる。                                 | 6ヶ月            |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。